

第8回東京都建築物液状化対策検討委員会 議事録

平成25年1月18日(金)に第8回東京都建築物液状化対策検討委員会が開催され、「東京都建築物液状化対策検討委員会報告(案)について」「今後の検討委員会の進め方(案)について」についての報告等がありました。

第8回東京都建築物液状化対策検討委員会 意見の概要

○は委員の発言

議事1	東京都建築物液状化対策検討委員会報告(案)について
<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">昨年5月に取りまとめた「中間のまとめ」及びそれ以降の検討内容を含め、昨年7月以降、本委員会で検討した内容を総括して記載している。まず、1番目として建築物における液状化対策の基本的な考え方を整理し、2番目に東日本大震災での液状化による建物被害、3番目に東日本大震災で液状化により建物被害が発生した地区における地盤調査等、4番目に東京都が取り組むべき事項を記載し、最後に液状化対策の推進について記載し、締めくくる構成になっている。 <p>○ 建て主や建物所有者が自らの住宅地の危険性等を評価する際に、例えばどのくらいの地震動に対して検討するべきかを、裏づけをきちんと説明するというシステムづくりが大事ではないか。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">国土交通省でも液状化対策の促進に向けて、液状化を判定する際の地震動の考え方等について検討を行っているようなので、例えばそれを参考にし、手引きを随時更新していくことを考えている。 <p>○ アドバイザー制度について、制度の枠組を東京都が定めて、制度を運営する機関がそれに従って進めていくものだと考えているが、そう読み取れるような文言にしたほうが良い。</p> <p>○ 「粒径分布」、「換算N値」、「細粒分含有率」の表現について、再度検討した方が良い。</p> <p>○ 委員会は、東京都に対して、①地盤データを区市の窓口等でも見られるようにすべき、②情報提供する地盤データのコンテンツを増やすべき、という2点を新しく要請している、ということを明確に書くべきである。</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">いただいた意見を元に、報告内容について検討を行う。	

(事務局)

- ・ 第9回委員会は2月上旬の開催を予定している。今回いただいた意見を踏まえ、個別に内容を確認していき、次回委員会で、検討委員会から都市整備局長への報告、という形をとらせていただく。
- ・ 委員会は第9回で終了となるが、その報告を受けて、東京都が手引きを作成する予定である。手引きについては、まず素案を作成し、その後パブリックコメントを行い、業界や都民の方々からご意見をいただいた上で、年度内に作成する予定である。

○ 液状化予測図を、手引きの中に入れるという予定はあるか。

(事務局)

- ・ 液状化予測図の方も、年度内に見直しを行い、新年度に新しいものが出来るという予定になっている。今回のパブリックコメントの段階では難しいが、将来的には手引きの中に液状化予測図を入れ込みたいと考えているので、関係部署と調整していきたいと考えている。